

【2023年度】放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表年月	2024年2月	事業所名	ハッピーライフたいしょう
------	---------	------	--------------

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		十分な活動スペースです。	クールダウンにも利用できるように相談室を学習ルームに変更しました。
	2 職員の配置数は適切である	○		適切である。	法人内事業所でスタッフの体調不良等での欠員が生じた場合は、すぐに応援体制が取れるように整備をしています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		安全を保障する上でバリアフリーになっています。	見学や入所時に説明をしているがあまり認識されていないようなので、訪問されたときに伝えます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々の変化にその都度即座に対応することになっています。	聞き取ったことなども必ずメモを取り共有を図っています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に1度のアンケート調査の意見を真摯に受け止め、改善に努めています。	送迎時だけでなく、「いつでも相談してください」と常に声掛けしているため、保護者から電話相談などで多数対応しています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて毎年公開しています。	ホームページにて公開します。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		毎年アンケートを行っています。	自分の事業所のことだけでなく他の事業所のアンケートにも目を向け、不適切な事例、保護者からの指摘を真摯に受け止め、業務に当たります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修・内部研修を確保されています。	スタッフの向上につながる研修にはどんどん参加していきます。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		モニタリング会議でアセスメントによる話し合いをしています。日々の変化をキャッチするように文章に残し活用しています。	引き続き行っています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントシートを使用しています。面談や電話・送迎時に変化があるときはすぐに記載しています。	面談や電話・送迎時に変化があるときはすぐに記載しています。
適切な支援の提供	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎朝朝礼時にみんなで話し合っていて決めています。	支援に基づいて考えています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		その日の来所予定児童に合わせたプログラムにしています。	安全を確保したうえで、プログラムを、変更することもあります。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		時には、子供たちの意見に沿った行事計画をたて、楽しさを倍増しています。	長期休暇のイベント情報を早めに取り入れ、色々なことを経験できるようにしていきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもへの観察力を生かし、計画を作成しています。	時には、子供たちの意見に沿った行事計画をたて、楽しさを倍増しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝のミーティングでその日のプログラムを決め、細かな対応に努めるようにしています。	個別支援が必要な子どもへの配慮を話し合います。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		反省点やヒヤリハットの報告書で話し合いを深め個々の動きや注意すべきことを再確認しています。	伝達ノートを用いて全員が周知できるようにしています。
関係機関や保護者との連携	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々個人記録を取り、気づきなどはメモ欄に記載するようにしているので、支援の時に振り返り役立っています。	書き留めることを癖付けるようにしています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		月に1~2回十分な時間をとりモニタリングを行っています。	子どもの変化に気づいたときは即座に行っています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		色々な活動を組み合わせ支援しています。	引き続き行います。
	20 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		その児童を担当しているスタッフと、児童発達支援管理責任者が同席し行っています。	スタッフ全員で参加できたほうがより良いのではないかと考えています。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		毎月下校時間の確認をし、トラブルが起きないようにしています。送迎の時間調整は即座に連絡しています。	学校のホームページや直接電話で確認をしています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		サポートブックに記載されている病院を把握しています。	変更があった場合はその都度変更をしています。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		相談支援員が中心となり共有しています。	引継ぎを行っています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		相談支援員に相談の上必要に応じて行っています。	情報共有をしています。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	利用できる窓口は利用し、最善の支援ができるように努めます。	積極的に取り組んでいくように心がけています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	公園遊びや地域でのお祭り、イベントに積極的に参加し、交流を図っています。	地域の情報に敏感に対応できるように常にアンテナを張っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○ 必要に応じて参加していきます。	地域のネットワークの強化につながるのに必要に応じて参加していきたいです。利用計画書の質を上げるためにも参加したいと考えています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	送迎時、連絡ノートで伝達しています。	出来なかったことができた時の喜びや、ちょっとした変化も共有しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	事業所で今取り組んでいる課題を明確に伝え、家庭でもできることを続けていただいています。	子どもの成長を一緒に分かち合います。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	適切に行っています。	変更があった場合に電話連絡をし確認しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	家庭訪問、電話、懇談等で行っています。保護者の気持ちに寄り添い、ゆっくり話を聞き共感を言語化し、否定的でなく肯定的に言葉を変えて伝えていきます。	定期的以外にも、受け付けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	毎月の行事予定表を発行しています。緊急な連絡などは、即対応しています。4か月に1回父母の会を開催しています。	保護者同士連絡を取り合える場を増やしていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	苦情があったときは、真摯に受け止め迅速な対応をしています。改善が必要な場合は話し合いを働けます。	どんなことも相談していただけるように、日ごろからこちらから改善点はないか聞いています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	毎月の行事予定表を発行しています。緊急な連絡などは、即対応しています。	引き続き行います。
	35	個人情報に十分注意している	○	厳重に取り扱っています。	ブログなど外部への発信には特に注意をはらっています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	子どもに合わせたツールを使い意思伝達に配慮しています。保護者とは信頼関係を構築するよう日ごろから配慮しています。	利用日数によって、保護者との関係性が違わないようにしています。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	機会を作りたいと考えています。	お祭り・ハロウィン・餅つきなどが出来たらと考えています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		事業所の玄関に設置しています。	保護者に伝わっていないようなので、懇談の時にお知らせします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		必ず月に1度防災に関してみんなで学んで周知し、火災・地震・津波・不審者などの避難訓練を行っています。	防災センターで体感することで、発生時に備えられるようにしています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に1度の虐待防止研修に全員が受講し、グループワークで疑問に思うことや理解できないことを話し合っています。	スタッフ同士確認しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		必ず保護者にどのような場合に身体拘束を行うかを理解していただき、子供に寄り添った支援の内容を提示し支援計画に記載します。	現在の利用者に該当する子どもはいませんが、いつでも対応できるようにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		サポートブックにより確認しています。変更があった場合は記載の更新変更を行い、保護者に確認をお願いしています。	料理の行事日は、特に注意を払うようスタッフに周知しています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		スタッフ同士の活動の反省の中で小さなことにも気を付けるように癖付け、ヒヤリハットを作成することで次につなげていきます。	本人が気づいていないヒヤリがある場合、みんなで話し合っています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。